

帝陵ライオンズ主催昼食会

今年も阪堺電車貸切の食事会のお誘いが帝陵ライオンズさんからありました。電車内では昨年からは始まったたこやきにくじ引き大会、それに今年からは事業で聞いている音楽を車中で流す計らいもあり、中にはマイクを握って歌い出す利用者さんもあり、笑顔の絶えない食事会となりました。ライオンズのみなさま、この企画も3年目になりますが、毎年新たな趣向を取り入れていただき、利用者・職員共々とても楽しい時間を過ごすことができました。本当にありがとうございます。(川岸)



南百夏まつり

今年も南百夏まつりに出店させていただきました。福祉ネット大和川のブースは大盛況、チョコQゲームは列が途切れることなく、ドリンクコーナーもソフトドリンクから飛ぶように売れ、20時前に終了となりました。家族会主体となって出店し、猛暑の中10名ほどのご家族の方が頑張ってくださいました。ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。(川岸)



世話人紹介

新しく入ったレインボーホームとほのぼのホームの世話人です



久田 忠幸

利用者さんの笑顔が見られようスタッフ一同力を合わせて支援に取り組みます



岡上 貴子



大西 進一

よろしくお願い致します!!

寄付・寄贈
ありがとうございました
(敬称略)

井本 弘子 張本 澄子 岡上 貴子
馬野 正子 河南製鉄株式会社
浅田給食株式会社

今後ともご協力賜りますよう
よろしくお願い致します

10月25日現在
8,059,468円

〈編集後記〉

暑さが厳しい夏も終え、過ごしやすい秋の気候となりましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか？今年度の秋も利用者研修旅行に始まり、法人の大運動会等が控えています。行事が盛りだくさんのこの時期、体調を崩さないように楽しみたいものですね。

少し早いかも知れませんが、冬の備えとして、インフルエンザの予防接種も受けておきたいものですね。(K)

福祉ネット大和川だより

発行責任者/社会福祉法人 福祉ネット大和川 理事長 久田幾代
〒546-0022 大阪市東住吉区住道矢田7-9-13 Tel 06(6769)7545 Fax 06(6769)7546



福祉ネット大和川と私

社会福祉法人福祉ネット大和川 事務局の高城です。2003年7月より法人にお世話になっております。まず馴れ初めは理事長の久田幾代さんの三女さんと私の次女が同級生！その上同じ町会でご近所です。私は19年間も専業主婦をしていましたが、道端で久田さんとの立ち話で「事務員さんの退職希望が出てから、誰か事務員してくれる人いないかな？」の一言から、独身時代に税理士事務所で働いていたので、週2~3日のパートで良ければ手伝いましょうか？の一言から現在に至ります。いざ、携わってみれば福祉系の事務は少し勝手が違って初めの頃はすごく戸惑ったのを思い出します。2~3日という約束もどこへやら、殆ど初めの頃からどっぷりです。その訳も、私の長女は18トリソミーと言う染色体異常の障害を持って1985年12月3日に誕生しました。そこからたった3年の生涯を走り抜けて亡くなってしまいましたが、障害を持った子供さんについて娘の年齢を重ねてしまっている事もこの世界に飛び込んだ大きなきっかけだったと今にして思います。

これまでの「福祉ネット大和川だより」で法人の成り立ちは紹介されてきましたが、無認可の作業所が7か所もあったと教えて頂きました。そこから2000年10月にNPO法人が立ち上がり、社会福祉法人今川学園「大和川園」のネットワーク施設として当時のリサイクルたんぼの職員さんが頑張って申請~立ち上げにご尽力頂いたと理事長から聞かせて頂いています。設立当初のNPOの理事長は月華殿の代表の植田喜保一さんでした。2003年6月に今の理事長久田幾代さんが就任され、その7月より事務員として働いて来ました。その頃はもう紙再生工房が独立されていて、工房すばるも休止状態でしたので、実態は5か所の作業所とレスパイト施設、ふれあいの家が関目であり、居宅介護・移動支援「ふれあい」が有りました。今ではレスパイト施設の「ふれあいの家」はショートステイとして「たんぼぼわたぼうし」の2階で事業展開しています。

当時は措置から契約へと障害者福祉制度は大きな転換期にありました。以前の障害者支援は殆どが社会福祉法人が担っていて、定員が決められていました(今も定員は有りますが少しニュアンスが違います)60名定員なら登録者が60名、園を利用してなくても定員と言うわけですね、そうすると新しく支援学校の卒業生は行くところ

が無い！親御さんたちが頑張って無認可作業所を作る。子供たちの働く場所・居場所を自分達の手で探し築き上げ、運営するといった形です。無認可の作業所は社会福祉法人今川学園「大和川園」のネットワーク施設として運営されていましたが制度が確立し社会福祉法人が無認可の作業所を持つことが出来なくなり、徐々にNPO法人福祉ネット大和川として作業所を束ねて運営して行くことになりました。NPO法人と言っても行政から支援費が出るわけでもなく、育成会のもとわずかな支援費で最高65名の利用者さんが利用する施設を運営する状況です。運営は厳しく、ご家族さん達の負担も凄いものでした。親御さんたちにNPO会員になって頂き、また知り合いに賛助会員になって頂く、バザー等の収入をご寄付頂き運営に回すといった感じで、本当に驚いたことを懐かしく思い、少し怖くもなります。法人の運営が大きく転換期を迎えたのは、2006年4月から段階的に施行されることになった障害者自立支援法により「公的制度に基づく施設運営」の実現です。2006年7月1日今の法人本部、住道矢田事業所が開所されました、初めて持った法人独自の建物です。2007年4月より「たんぼぼわたぼうし」として多機能の事業所運営がスタートし、将来構想として2008年4月に社会福祉法人格取得に向けてスタートしました。2010年3月には法人格取得、その8月より本格的に事業スタートとなりました。社福事業スタートとほぼ同時に「ほのぼのホーム男子棟」6名定員のGHが開所され2016年秋には賃貸ですが10名定員のレインボーホーム完成を機に「ほのぼのホーム女子棟」「レインボーホーム男子棟」としてスタートしました。この間作業所の閉所や合併を繰り返し、今は4か所の事業所と2か所のGHが有ります。私がこれまで携わってきました15年の社会福祉法人福祉ネット大和川のざっとした歴史です。これから前向きに、利用者さんと利用者さんの保護者の皆様、職員の皆様・法人理事・監事・評議員。お世話になっている地域の皆様の意見を聞く事を大切に。久田理事長がいつも仰っている、「利用者さんを真ん中に」を忘れず、法人の理念「一人ひとりの輝く個性 一人ひとりの夢をかたちに」を全うして行きたいと思っております。またこうした機会が有りましたら次回には職員の意識改革についてのお話をさせて頂きたいなと思っております。どうもありがとうございました。(事務局 高城 美佐子)

47191

東映太秦映画村・亀岡湯の花温泉・京都鉄道博物館への研修旅行

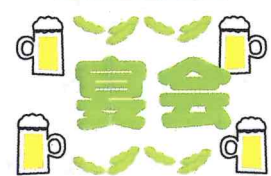


今年は9月13～14日の2日間。利用者50名、職員・理事21名総勢71名でニフレル
東映太秦映画村・トロッコ列車・京都鉄道博物館に行ってきました!!

東映太秦映画村



京都鉄道博物館



エキスポシティ ニフレル